

<p>おやじ必読 おやじ メール O-mail</p>	<p>Vol. 3 12 年 7 月 平和幼稚園 おやじクラブ</p>
--	---

O-mail は、おやじクラブ から平和幼稚園の全おやじへの情報発信のための新聞です。

おやじのつぶやき

「こどもと接することがなにより」

3 組・11 組 今泉 俊英

早いもので、下関から転勤で札幌に移り住み、6 年が経とうとしております。

下関時代は客先の接待が多く、平日に真直ぐ帰宅出来るのが 2 日程度、また土日となればどちらか一方がゴルフというような生活を送っておりました。

そのせいかこどもと接するのに、なにか「照れ」があり、自分の気持ちをストレートに伝えることが出来ませんでした。真直ぐ帰ることも照れくさく、遅く帰っていたのかもしれない。

札幌に来ると、以前のような客先接待は少なく、比較的時間が取れるようになったのです。

翌年、長女の友紀子が平和幼稚園に入園し、かみさんから勧められるままに「おやじクラブ」に参加してみると、好きなお酒に酔いつつ、優しいおやじ達が“純粋”にこどものことを話し合い、こどもとともに自分達も楽しもうとする雰囲気について引き込まれていったのです。

「おやじクラブ」を通して、父親がいかにかこどもと接するのを見ながら、今まで自分の気持ちの中にあつた「照れ」が無くなり、徐々に自分の気持ちに変化していきました。

そして、こどもたちと純粋に向かい合えるようになったのではないかと思います。

私のようにこどもとの接するのに「照れ」を感じている方が何人いるかはわかりませんが、幼児期という大事な時期に親としてこどもといかに接するかは非常に重要な事だと思います。

今は少しでも“純粋”に接するよう心がけております。家族仲良ければこどもたちは素直に育つのではないのでしょうか。

最後におやじ達が、自分のこどもだけでなく「いい事は褒めてあげる」「悪い事は叱ってあ

げる」ことで、こども達はより多くのことを学ぶと思います。

先生から「ファイト！一発」

「夏が来～れば思い出す」

12 組担任 藤村 道子

暑い日差しが、すっかり夏を感じさせ、子ども達もパワー全開の様子です。私は暑いのは苦手ですが、なんだか心が躍る季節ですね。

先日、幼稚園で親子プレサマースクールが行われましたが、ご家庭でもキャンプやバーベキューなど楽しみな計画が沢山のことと思います。

私も子どもの時には（今でも）、毎年恒例の海でのキャンプをとて楽しみにしていました。

当時は今ほどのアウトドアブームはなく、炊事もたき火をおこし、飯ごうで米を炊く、いわば本格的なサバイバルキャンプでした。

父の手伝いはおろか、足手まといにならないように必死でした。（それでも末っ子だったので、かなり得していたと思います）でも、今でのその思い出は家族や兄妹の間で、話しをして盛り上がります。そのときの失敗談やエピソードは、はっきりと記憶に残っていますよ。そんなこともあって、きっと私は今でもキャンプが好きなんだと思います。

幼稚園の子ども達は、これから沢山の楽しい思い出を作っていくことと思います。そして、家族との思い出、おでかけの思い出は、友達同士の思い出とはまた別に、きっと子ども達の心の中にしっかりと残ることでしょう。

そして、大人にとっては些細なことが大きな感動となる子ども達は、そこで普段見られない力強く、ちょっぴり意外で新しいお父さんの姿の発見ができるかもしれません。

幼稚園で子ども達から沢山の楽しい夏の思い出話を聞けるのを楽しみにしています。

夏のギラギラの太陽に負けない元気な夏をお過ごしください。

今月の話題

「おやじのあるべき姿とは」

毎日新聞「おーい父親」から
公文子ども研究所が行った「父と子どものコ

コミュニケーション」調査結果によると、お父さんとのコミュニケーションの高低によって子どもの育ちに大きな違いが出た。

「みんなで決めたことには従う」「困っている人の手助けをする」という社会性の育ちを比べると、どの項目でもお父さんとのコミュニケーション度の高い子の方が社会性がきちんと育っている。逆にコミュニケーションの低い子どもは「親にあまり口出しして欲しくない」という要望を持っている。

また、子どもがみるお父さんのタイプは、優しいパートナー型 はつらつエンジョイ型 仕事重視型 厳格リーダー型に分かれたが、このうち子どもとのコミュニケーションが良好なのは と であった。

つまり、子どもと一緒に遊んで、子どもの相談にのったりするタイプのお父さんの子どもの方が社会性が育っているという結果が出たのだ。

厳格で仕事重視に振る舞っても、子どもは必ずしも父親をモデルとはしない。モデルとならない父親が、おれの言うことを聞けと迫っても、子どもは納得しない。それよりも「自分探しをするのを応援してよ」「相談にのってよ」というのが子どもの願っていることらしい。

どうやら、子どもに文句を並べるのではなく、自分の信念や趣味を大事にして、無理なく生きているという感じの父親が望まれているようだ。

お-クラブ-メーリング-リストから

「最近の少年の事件を見ていて思うこと」大人の世界のいじめや無関心、これは最低ですよ、付き合い方を知らなければ、挨拶すら出来ない。大人がこれじゃ～ね。

政治・行政..変な大人があちこちにいますよね。子供をどうするというより、大人が良いところを見せねばと思いますよ。

子供は、常に親の背中を見ています！

私は子育てを楽しんでいます。（G氏）

6月行事の報告

6月11日(日)9:30から平和の滝入り口手前の水田で田植え体験が行われました。子ども達とお父さん・お母さんそして先生も加わり総勢71

名が参加し、泥の感触を楽しみながら田植えを楽しみました。田植えの後は豚汁なべを囲んで歓談に花が咲きました。

余った苗は園の駐車場脇で栽培しています。秋の収穫が楽しみです。

また、同日午後にお-クラブ-10周年記念行事の一環として園の駐車場の斜面に芝桜を植えました。まだ、よく目を凝らさないと芝桜を発見できませんが、来年の春には一面が桜色に染まっていることを期待しましょう。

6月16日(金) 18:30～「おもだか」(S1 W116組紙谷さんのお店)で春の利き酒会が行われました。参加者はOBも含めて15名ほど。美味しい料理と日本酒を楽しみながら、子どもの話、遊びの話、仕事の話と話題は様々、「子育てはこうあるべき」「いや俺はこう思う」なんて熱く語り合う場面もあったりして、いつものごとくおやじの宴は大盛り上がり。ある参加者は「ハチャメチャで熱いエナジーを体一杯に感じた」と感想を漏らしていました。

7月行事のお知らせ

7月7～9日に幼稚園行事七夕フェスタにおいて、お-クラブ-では、8日の午後、おやじの店の出店とふれあいステージでミュージカル「バカ殿は好き嫌いが多すぎ！」を上演します。

おやじの店では、おでんとわたあめを販売し、収益は翌日の打ち上げ花火の協賛金及び幼稚園での遊具の購入(去年はスケート靴を買いました)に当てられます。是非お立ち寄りください。

また、ふれあいステージに参加するおやじ達は、プロのインストラクタの指導を受けながら日夜練習に汗を流しています。どうぞご期待。

後記

子ども達が泥の中で無心に苗を植えたり、虫を追いかけている姿を見ると、子どもの本質・本能は変わっていないのだと安心します。

お-クラブ-はアウトドアの催しも盛りだくさんです。

担当：なみかわ

E-mail：namikawa@mpd.biglobe.ne.jp